



J. FRONT RETAILING

2010年 9月17日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者
 奥田 務
 お問合せ先 経営計画事業統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2010年8月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	8月度	累計
百貨店業	0.7 (1.3)	▲1.6 (▲1.1)
スーパーマーケット業	▲4.0	▲3.5
卸売業	▲23.6	▲22.2
その他事業	56.8	16.3
連結合計	1.7	▲2.8

(注1)百貨店業合計の()内は、松坂屋岡崎店(2010年1月31日営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店業

- ・8月度の百貨店事業の売上高は、猛暑により秋冬もののファッションの定価商材の動きが鈍かったものの、各店で強化した婦人洋品雑貨などの盛夏商材のセールが好調であったことに、松坂屋各店で実施した「デパートメントストア100周年記念ご愛顧感謝セール」や、29日に閉店した名古屋駅店の売りつくしセールなどの嵩上げ効果も加わり、大丸松坂屋百貨店直営店は対前年 2.2%増、関係百貨店を加えた百貨店事業合計は同 1.3%増と、3ヶ月ぶりにプラスとなった。

2) スーパーマーケット業

- ・ピーコックストアは、グランパーク田町店、自由が丘店、上池台店、新神戸店などが好調を持続したものの、閉鎖店舗(常盤平店、茶山台店など計4店舗)の影響もあり、全体としては対前年▲4.0%減となった。地区別では、首都圏が対前年▲2.7%減、関西地区が同▲3.8%減、中部地区が同▲9.2%減であった。

3) その他

- ・卸売業の大丸興業は、ホームセンター向け商材やアパレルなど全般に苦戦し、対前年▲23.6%減となった。
- ・その他事業は、大丸京都店、梅田店の改装工事などにより好調であったJ.フロント建装が牽引した。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2010年8月度 百貨店業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	8月度		累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	27.2	73.5	24.1	78.9
大丸 梅田店	▲39.9	▲19.4	▲28.8	▲8.9
大丸 東京店	▲4.9	▲2.7	▲6.3	▲1.2
大丸 ららぽーと横浜店	1.5	-	▲1.4	-
大丸 浦和パルコ店	▲2.7	-	▲3.8	-
大丸 京都店	▲4.9	0.1	▲3.2	2.9
大丸 山科店	0.8	-	▲3.0	-
大丸 神戸店	▲2.8	2.5	▲2.9	4.0
大丸 新長田店	1.1	-	▲1.1	-
大丸 須磨店	1.0	-	2.0	-
大丸 芦屋店	▲2.6	-	▲2.7	-
大丸 札幌店	6.6	4.2	7.4	4.4
松坂屋 名古屋店	▲4.7	0.1	▲3.7	▲1.1
松坂屋 上野店	5.3	6.8	0.2	4.5
松坂屋 静岡店	▲3.1	3.6	▲5.6	▲2.3
松坂屋 銀座店	0.3	48.8	▲8.1	38.4
松坂屋 高槻店	▲20.2	5.8	▲23.4	7.1
松坂屋 名古屋駅店	265.1	41.8	86.6	19.4
松坂屋 豊田店	0.9	9.2	▲0.6	1.0
大丸松坂屋百貨店合計	2.2	9.0	▲0.6	9.2
博多大丸	▲2.9	▲2.6	▲2.8	▲0.8
下関大丸	▲6.7	▲7.7	▲6.9	▲7.2
高知大丸	▲6.8	▲4.6	▲5.4	▲2.9
百貨店事業合計	1.3	-	▲1.1	-

(注1) 松坂屋岡崎店(2010年1月31日営業終了)は除く。岡崎店を含めた売上高は、8月度は直営店合計対前年1.5%増、百貨店事業合計同0.7%増。

3~8月度累計は、直営店合計対前年▲1.3%減、百貨店事業合計同▲1.6%減。

(注2) 参考数値として、大丸松坂屋百貨店のうち8月度の大丸合計は対前年▲2.1%減、松坂屋合計は同11.0%増。3~8月度累計は、大丸合計対前年▲0.9%減、松坂屋合計同▲0.1%減。

(注3) 2010年3月から、大阪法人外商は高槻店から心齋橋店へ移管、また、東京店の個人・法人外商および銀座店の個人外商は上野店に移管。

なお、外商移管の影響を除いた売上は、心齋橋店が対前年22.5%増、東京店 同▲1.1%減、上野店 同▲1.6%減、銀座店 同8.3%増、高槻店

同▲1.6%減。累計の売上は、心齋橋店が対前年19.1%増、東京店 同▲2.6%減、上野店 同▲6.3%減、銀座店 同1.7%増、高槻店 同▲1.4%減。

2. 大丸松坂屋百貨店直営店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	8月度	累計
紳士服・洋品	5.4	▲5.3
婦人服・洋品	11.0	5.2
子供服・洋品	▲7.2	▲3.9
その他の衣料品	▲7.6	▲8.5
衣料品計	8.1	2.0
身回品	▲4.1	▲3.8
化粧品	6.0	3.6
美術・宝飾・貴金属	7.2	▲0.2
その他雑貨	▲16.9	▲18.2
雑貨計	3.7	▲0.6
家具	▲4.1	▲5.8
家電	15.7	▲9.4
その他の家庭用品	0.8	▲1.7
家庭用品計	▲0.2	▲3.3
生鮮	▲1.1	1.3
菓子	▲1.5	▲0.4
惣菜	▲6.1	▲3.2
その他食料品	▲8.5	▲6.5
食料品計	▲4.2	▲2.3
食堂・喫茶	2.4	▲4.3
サービス	▲28.2	▲36.4
その他	15.9	5.5
合計	2.2	▲0.6

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、心齋橋店北館開設や京都店改装によるヤング・ヤングアダルトファッションの好調に名古屋駅店の売りつくしセール効果が加わり高伸した。紳士服・洋品や美術・宝飾品も、同セールが寄与し好調であった。婦人靴・ハンドバッグなどの身回品や食料品は、梅田店改装工事に伴う面積減の影響が大きく苦戦した。なお化粧品は5ヶ月連続で前年を上回り、食堂・喫茶は梅田店14階レストランフロアのオープン(8/5)効果もあり好調であった。